

36年目を迎えた商店街の伝統行事 I LOVE フクチフェスタ

昭和51年から「夜市」として、平成3年からは「カナダフェスタ」として親しまれてきた夏を代表するイベント「I LOVE フクチフェスタ」が、8月5日に開催されました。会場となった新町通りでは、約600mの街筋が1日限りの歩行者天国に。既存の店舗のほか36の露店が軒を連ね、約2千人の来場者で埋め尽くされました。特設ステージでは〇×クイズに答えながら大縄の跳躍回数を競うメインイベント「大縄でQ」が大盛況。出場チーム10組への声援で会場には一体感が漂っていました。



1 見事優勝した「金田ちびパドC」 2 準優勝は「金田ジュニアクラブ」 3 「赤池 Jr. ベアーズA」は3位 4 最多人数(7人)で跳躍した「キンチョールファイヤー」 5 今回初出場の「ファイブインツ-STAR-HILL」



改良

今年から大人と子どもの2部門に分かれた「浴衣deナイト」には8組ずつがエントリーし、個性を披露。全体のコーディネイトや動作が評価され、それぞれ3位までが表彰されました。



浴衣deナイト優勝♪

← ↓計25人があでやかな浴衣や甚平で登場。18歳以下の部で優勝したのは相浦楓太郎くん・遥乃ちゃんきょうだいと、いとこの中村常一郎くんの3人組でした。

18歳以上の部優勝
山口 沙織里さん
日本の伝統的な「和」を崩さないよう、白い浴衣とあわせて帯と下駄は紺にし、清涼感のある感じにまとめました。優勝できうれしいです!



初運行

1 子どもたちが殺到したバルーン&マジックショー 2 メーンのサマー抽選会では、商品券が総勢50人に当たりました 3 あいにくの雨に見舞われながらも勇ましく運行したねぶた

「商 工会と赤池スタンプ会が行う「福智町憩いの夕べ」が、8月20日に商工会館前で開かれ、家族連れなどで賑わいました。場内のテント村では、農産物などが大盛況。ステージでは抽選会やショー、花火などが行われ、会場が歓声に包まれました。さらに今年は、生力地区が青森県から譲り受け東北へのエールを込めて改造した「ねぶた」を披露。来場者は祭りの熱気の中、東北の伝統に触れ、その現状に思いをはせているようでした。



東北の夏の風物詩「ねぶた」が初登場 第3回福智町憩いの夕べ



1 弁城小体育館が情熱的なステージに 2 沖縄のグループが琉球三線を演奏 3 14曲が披露されたタヒチアンダンス 4 会場を笑いの渦に巻き込んだ福岡よしもの「レモンティー」

初披露



「昨 年は雨で中止...今年は何とか実行したい」と会場を屋外から急ぎよ変更し、弁城小体育館で8月21日に行われた弁城夏祭り。突然の変更にもかかわらず多くの人が訪れ、ステージを堪能しました。当初「異文化や芸能を知ってもらうことで子どもたちの可能性を広げたい」という実行委員の思いで始まったイベント。今年もその思いをつぐ魅力的なパフォーマンズが繰り広げられ、ラストは恒例の抽選会で幕を閉じました。

多彩な文化に触れ感動を与えた 第7回弁城夏祭り

新しい歴史をつくる 初開催 赤坂八幡社夏越祭り

「無 病息災・家内安全を祈願して、岩屋神社で8年前から行われている「夏越祭り」。このお祭りが、岩屋神社の兼務社である赤坂八幡社で、8月6日に初めて開催されました。境内では、カヤの葉で作られた大きな輪を、願い事を心の中で唱えながら3度くぐる神事「茅の輪くぐり」などを挙行。初開催に踏み切った手島直和禰宜は「最近では、普段神社に近寄る機会が少ないかたが多いと思いますが、行事をきっかけにみなさんが集まり、地域の神社だという認識をしてもらえたらと思います。今後も工夫しながら、地域と神社のつながりを深めていきたいです」と、新たなイベントの継続に思いを込めました。



1 厳かな雰囲気の中、巫女が「平穏無事で暮らせるように」という願いが込められた「浦安の舞」を奉納 2 罪やけがれを取り除くとされる直径2.5mの茅の輪

イベントに魅せられ 心躍らせたふくちの夏

Pick Up 2011 Summer

夏ならではの活気とふれあいに満ちたイベントが、毎週のように開催された8月。人々が集った4つのイベントを、初挑戦・改良したそれぞれの見どころと一緒にご紹介します。